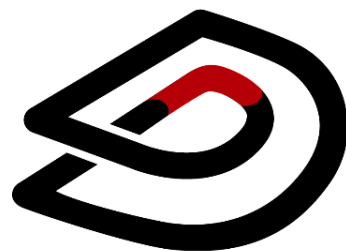


人を不幸にしないための、デジタルと



デジタルプラス

**2025年9月期 第3四半期
決算説明資料**

飛躍的成長への踏み台とした3Q

～21四半期連続成長、流通総額1,000億円への準備完了～

2025年3Qの流通総額は、
**21四半期連続成長、前Q比112%、
年間換算135億円ベースに到達**しました。

6月には**資金移動業を取得**し、
流通総額1,000億円への道筋が整いました。

3Qは2Qからの成長投資をさらに加速させ、
まさに飛躍的成長への“踏み台”としました。

4Qは、投資回収・大きなV字回復に入り、
流通粗利率は約1.8倍に改善、
フィンテックセグメント単体利益で、
1億円超を見込んでいます。

本3Q決算においても、ご質問を受け付けております。
私自ら動画にて、真摯にご回答させていただきます。

質問連絡先 : <https://digital-plus.co.jp/contact/>
質問受付終了日時 : 2025年8月22日(金)19:00まで
質問回答日時 : 2025年9月3日(水)15:30(予定)

この3Qは、大きな決断が求められました。

短期的な利益を取るか、
それとも足元を痛めてでも
**月間流通35億円、年間流通1,000億円という
未来を最優先に進めるか。**

私たちは迷わず、未来を選びました。

その中でも、
**時価総額は改善期間入り(上場維持)の基準である
40億円を上回り、50億円前後で推移。**

この水準は、私の背中を強く押し、
飛躍的成長への覚悟を、さらに強める力となりました。

ご支援・ご期待をいただける皆さまに、
心より感謝申し上げます。

創業20周年を迎えた今、
ここからの新たなスタートに中途半端はありません。

これまで支えてくださったすべての方に、
必ず飛躍的成長で恩返しをいたします。

株式会社デジタルプラス
代表取締役社長CEO

菊池 誠見

INDEX

- 01** 2025年9月期 第3四半期 決算ハイライト
- 02** 2025年9月期 第3四半期 主要計数のご説明
- 03** 事業進捗
- 04** Appendix

01 2025年9月期 第3四半期 決算ハイライト

流通総額21四半期連続成長・前Q比112%、年間135億ベース

3Qも流通総額拡大を最優先とし、資金移動業の登録に向けて自粛した一部取引やファクタリング事業の低調がありつつも、流通総額は連続成長を実現

資金移動業取得・口座開設完了、9月までに正式リリースへ

デジタルウォレットで報酬などの役務提供や対価性のあるものの対応が可能に、流通総額1,000億円へ向けた重要な一手となる

純フィンテックセグメント(デジタル&除く) 過去最高益更新見込み

流通総額拡大へ2Qからさらに3Qは積極投資し、4Q以降投資回収フェーズへ突入
4Qにおいて、初のセグメント利益1億円超を見込む

3Q累計全社営利▲42百万円、4Q単体の全社営利は50~70百万円見込み

3Qは流通総額拡大に向けたディスカウント販促や資金移動業取得費用、デジマセグメントの事業売却等の選択と集中により、4Q以降はフィンテック単体の貢献で全社黒字化へ

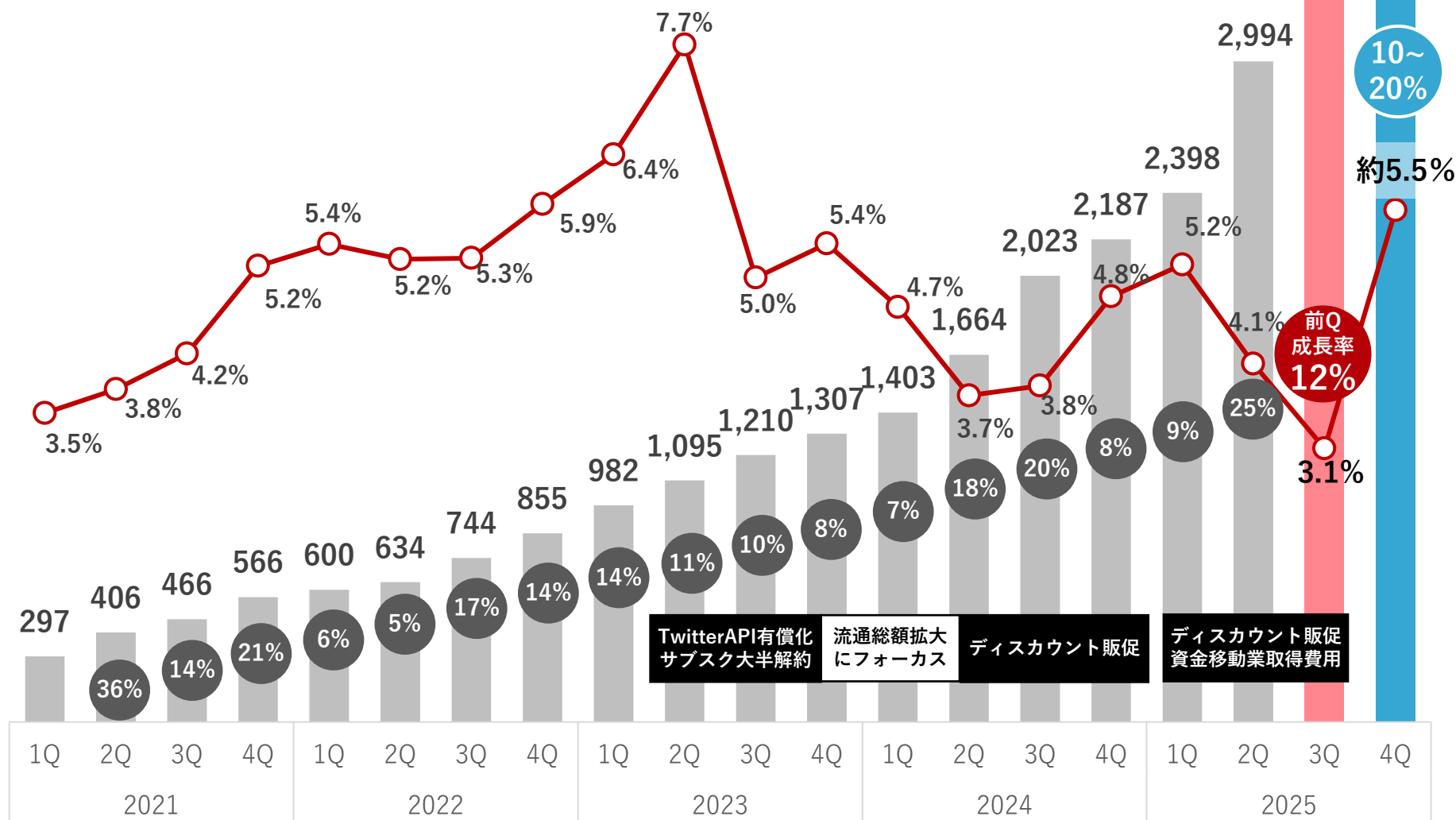
フィンテック流通総額・流通粗利率の四半期推移

■ 流通総額

● 流通粗利率

(単位：百万円)

※流通粗利率：デジタル&除く



予測

3,500~4,000 2025年9月期第3四半期サマリ

3,349

10~20%

約5.5%

前Q
成長率
12%

1 流通総額
21四半期連続成長
前四半期比112%
約34億円に到達
年間約135億円ベース

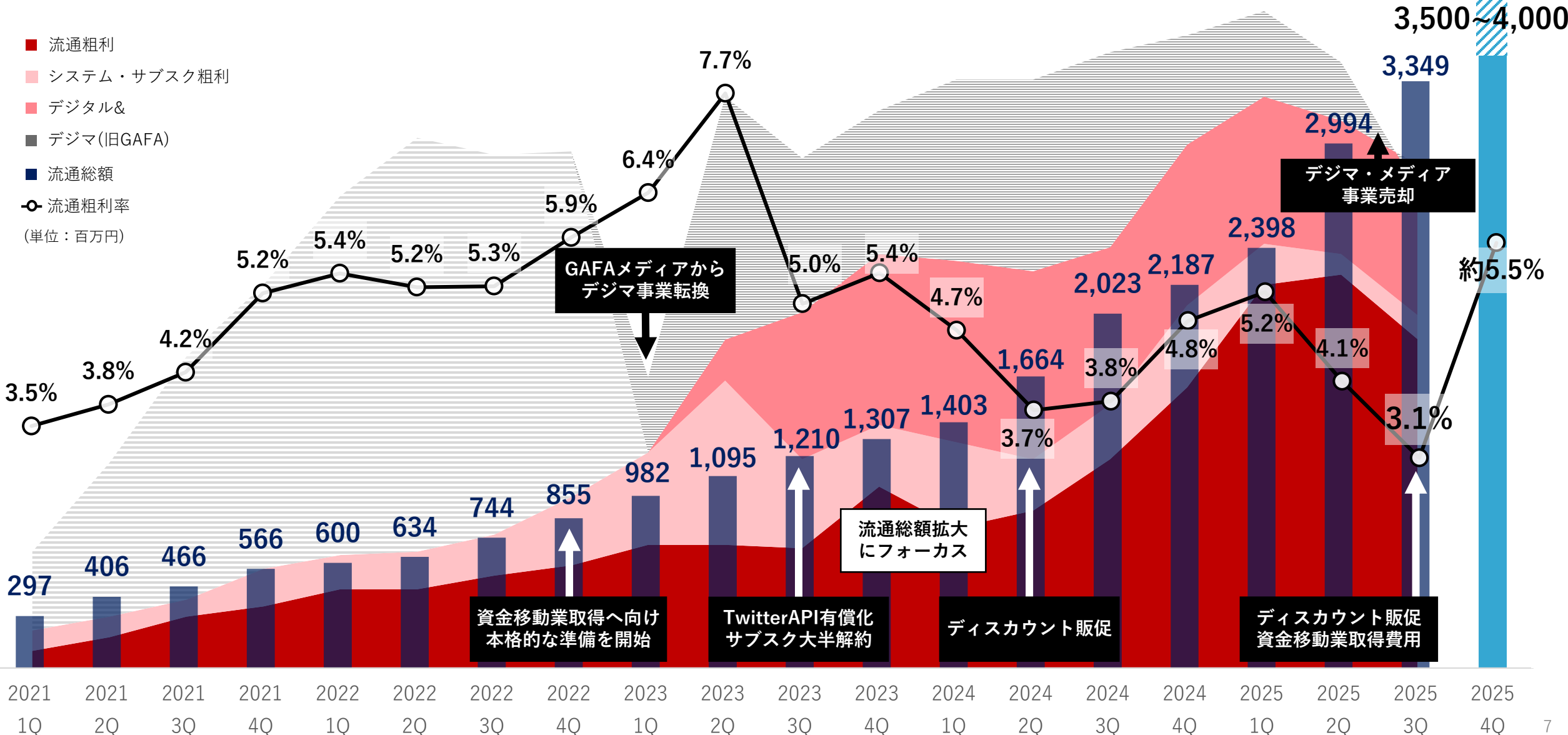
2 流通総額拡大を優先した
ディスカウント販促により
流通粗利率は、低下傾向だが、過去同様(2024/2Q-
2025/1Q)に改善見込み
第4四半期は約5.5%まで
改善見込み

3 資金移動業取得に向けて
自粛した一部取引やファク
タリングが低調な一方で、
株主優待領域の受注好調に
より、流通総額は連続成長
を実現

流通総額が全社業績（粗利）に与える影響

2023年3Q流通総額拡大にフォーカス以降、流通粗利も堅調に推移し、2025年4Qではフィンテックで
流通粗利率が約1.8倍に改善し、過去最高粗利の見込み。今後も流通総額拡大を重要な戦略として位置づける

予測



お金ではかなえられない 毎日をつくっていく。

2025年9月期目標

流通総額120億円(前期比1.7倍)

(新)2026年9月期中間目標

「月間」 流通総額35億円(年間420億円ベース)

2027年9月期目標※

流通総額 1,000億円 営業利益率 50%

流通総額1000億円への中間目標として

営業利益10億円

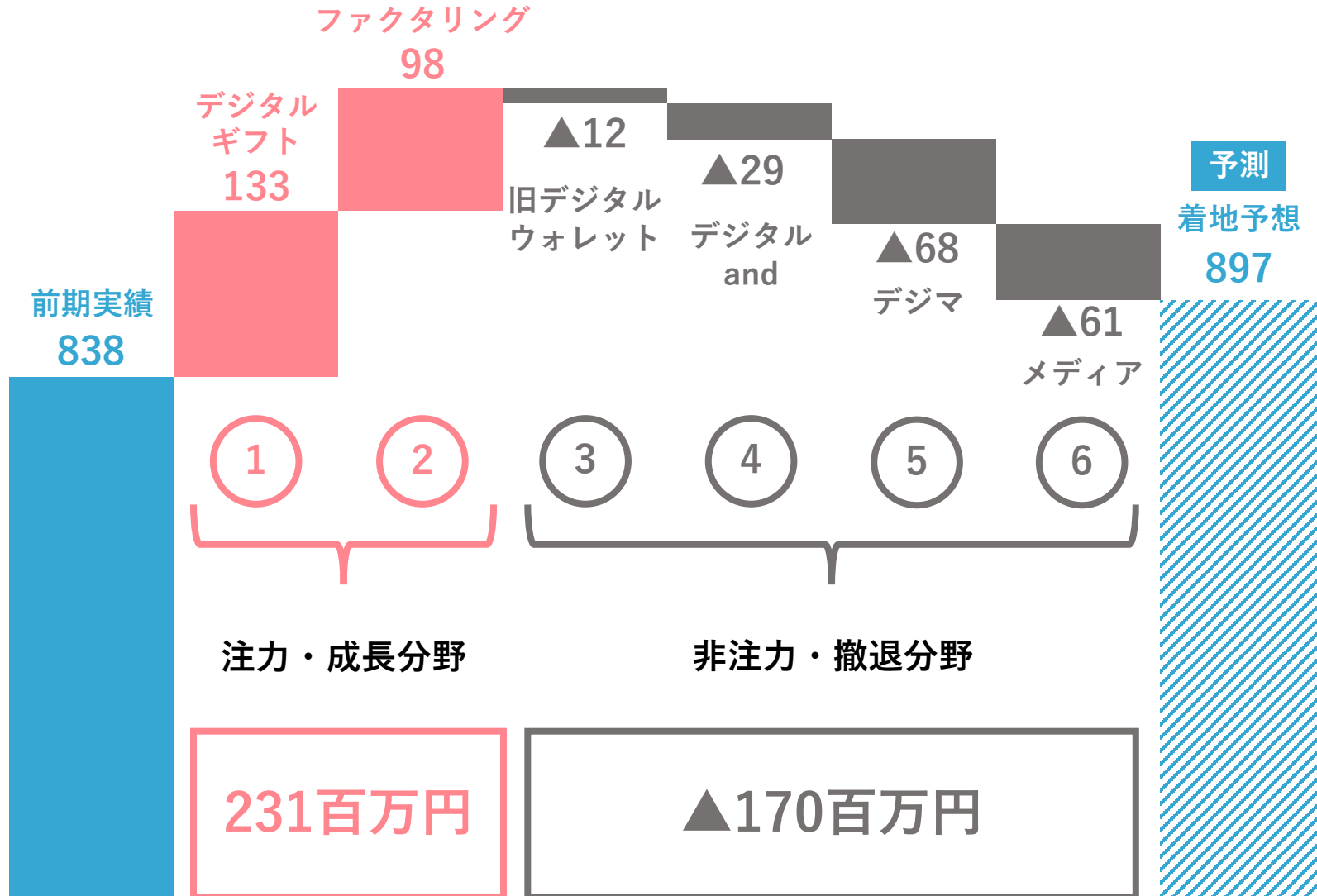
①月間流通総額35億円 × 12カ月 × ②流通粗利5%

流通粗利21億円－③販管費10億円

一時的に流通粗利率が低下しても、月間流通総額35億円到達を優先。到達後、流通粗利率5%に改善。流通拡大のための販促活動、および想定以上の資金移動業運営コスト、株主優待等により販管費が一時的に10億円を上回る可能性もあり。

前期 売上GAP

株主優待受注の増加や補助金ファクタリングの取り込みにより前期比ではプラス要因がある一方、資金移動業取得の遅延、デジマ支援事業やメディア売却等の影響により、当初通期予算を下回る



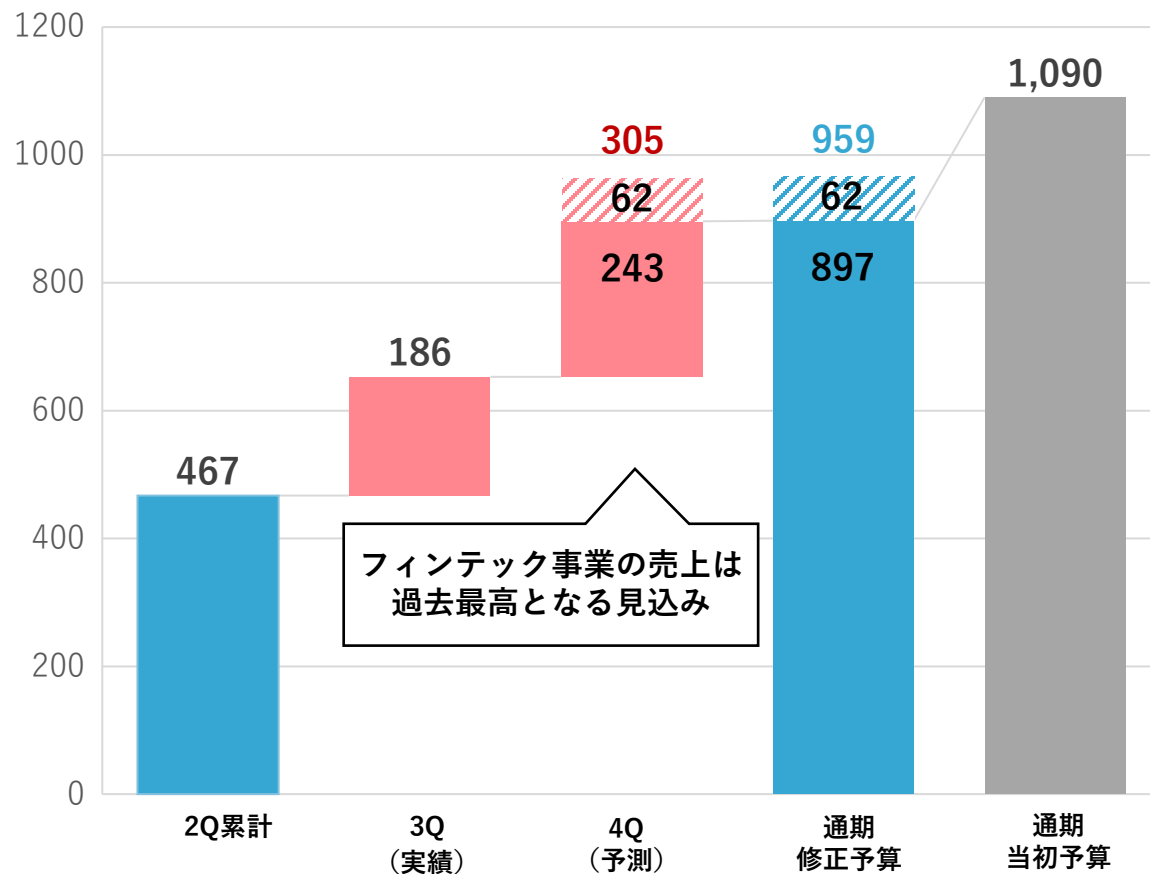
- ① 優待受注好調
導入決定社数60社へ
- ② IT導入補助金
受付期間の取り込み好調
- ③ 資金移動業取得に向けた
取引自粛、約10億流通減少
- ④ デジタルand
売上低調
- ⑤ デジマ支援事業
売却により前期比▲68百万
- ⑥ SEO変更・流入減
売却により前期比▲61百万

2025年9月期 通期業績予想の修正

流通総額拡大に注力するために、ディスカウント販促、資金移動業の取得投資、またデジマ支援事業の売却によって、3Qの営業利益は赤字で着地。一方、4QにはV字回復予定。来期大幅な営業利益ベース構築

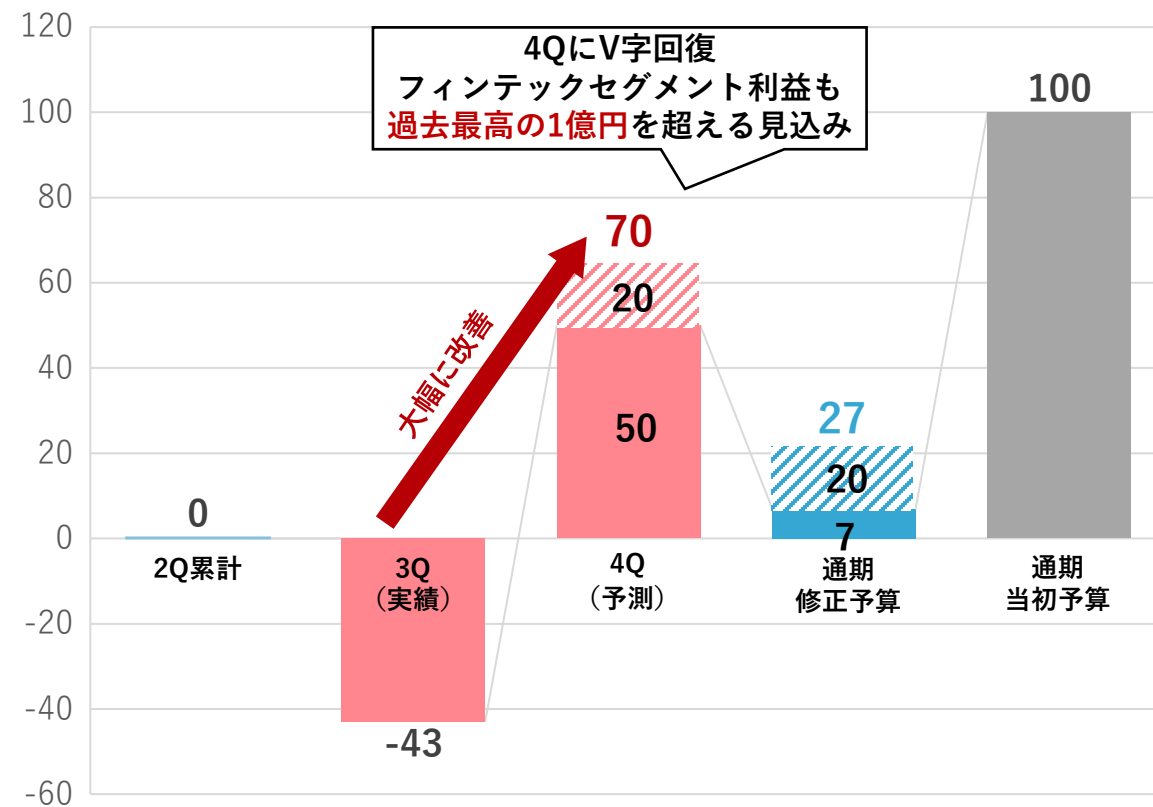
売上高

(単位：百万円) レンジ幅



営業利益

(単位：百万円) レンジ幅



※4Qは減損損失が業績(営業利益)に影響する可能性があります

02 2025年9月期 第3四半期 主要計数のご説明

連結損益計算書（P/L）：2025年9月期 第3四半期決算概要（IFRS適用・会計期間）



流通拡大を優先したディスカウント販促、及びデジマ支援事業の売却に伴う収益の減少により、前Qと比較して売上・粗利ともに減少、資金移動業取得関連費用の増加により営業利益はマイナス着地

単位：百万円	2025年9月期 第3四半期 (2025年4月～2025年6月)	2025年9月期 第2四半期 (2024年1月～2024年3月)	前四半期比	2024年9月期 第3四半期 (2024年4月～2024年6月)	前年同期比
売上収益	186	228	82%	210	89%
売上総利益	140	178	79%	181	77%
売上総利益率	75%	78%	▲3pt	86%	▲11pt
販売費及び一般管理費	199	185	108%	179	111%
その他収益及び費用	16	▲0	—	16	100%
営業利益	▲43	▲7	—	18	—
四半期利益	▲58	▲32	—	20	—
親会社の所有者に帰属する当期利益	▲56	▲31	—	12	—

当社考察

1 デジマ支援事業の売却、及び2Qに引き続き、流通総額拡大を優先としたディスカウント販促等の影響により粗利率は一時的に低下。一方4Qでは、流通粗利率の回復によりフィンテックセグメントの過去最高益が見込まれる

2 ファイナンシャルプラスの売却益15百万円は、3Qではなく4Q計上予定

3 子会社であるデジタルフィンテックの利益増加に伴う法人税増加及び、支払利息の増加による影響。グループ全体の税務最適化を検討中

連結損益計算書（P/L）：2025年9月期 第3四半期決算概要（IFRS適用、累計）



デジマ・メディアの事業売却、ファクタリング事業が低調な一方で、フィンテックセグメントの大幅な成長により、売上・粗利共に前年同期比で堅調に推移。**4Qでは流通粗利率の回復により過去最高益を見込む**

単位：百万円	2025年9月期 第3四半期（累計） (2024年10月～2025年6月)	2024年9月期 第3四半期（累計） (2023年10月～2024年6月)	前年同期比
売上収益	653	619	105%
売上総利益	511	528	97%
売上総利益率	78%	85%	92%
販売費及び一般管理費	586	528	111%
その他収益及び費用	32	57	56%
営業利益	▲42	56	—
四半期利益	▲100	66	—
親会社の所有者に帰属する 当期利益	▲100	23	—

当社考察

- 1

フィンテックセグメントの高い成長に支えられ、売上・粗利ともに前年同期比で堅調に推移。
一方、2Qよりさらに、ディスカウント販促による流通総額の拡大を最優先とした結果、粗利率は減少
- 2

投資による一時的な粗利率の減少、資金移動業取得費用の増加により、3Q累計では営業利益は赤字着地
- 3

子会社であるデジタルフィンテックの利益増加に伴う法人税増加及び、支払利息の増加による影響。
グループ全体の税務最適化を検討中

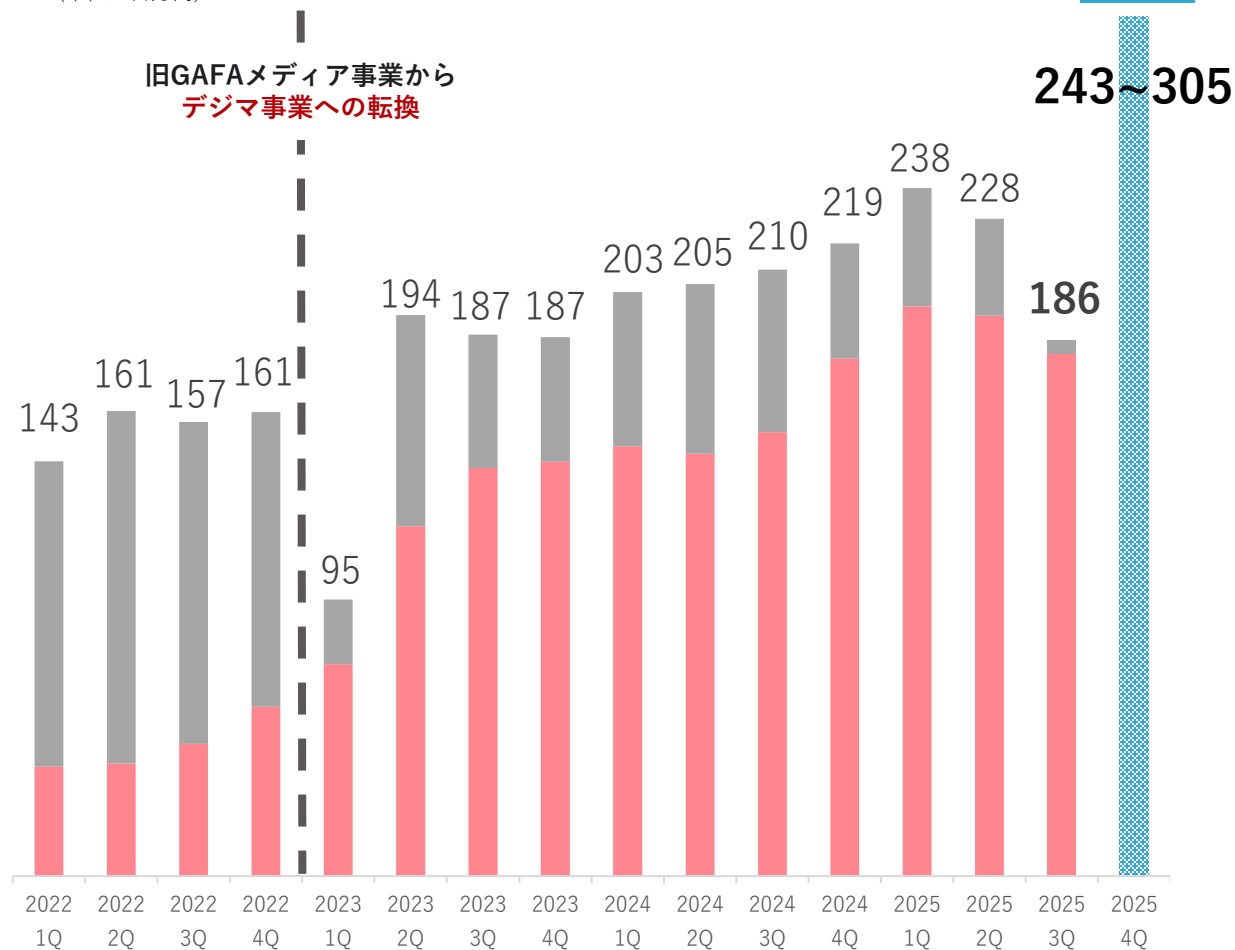
売上・営業利益 | 四半期毎の推移

3Qはデジマ支援事業の売却、流通総額拡大に向けたディスカウント販促、及び資金移動業取得のための一部取引の自粛により前Q対比で売上が減少。4Qは、流通粗利率の回復により **営業利益50～70百万円・利益率約20%へ**

フィンテック・デジマの四半期売上推移

■ フィンテック ■ デジマ

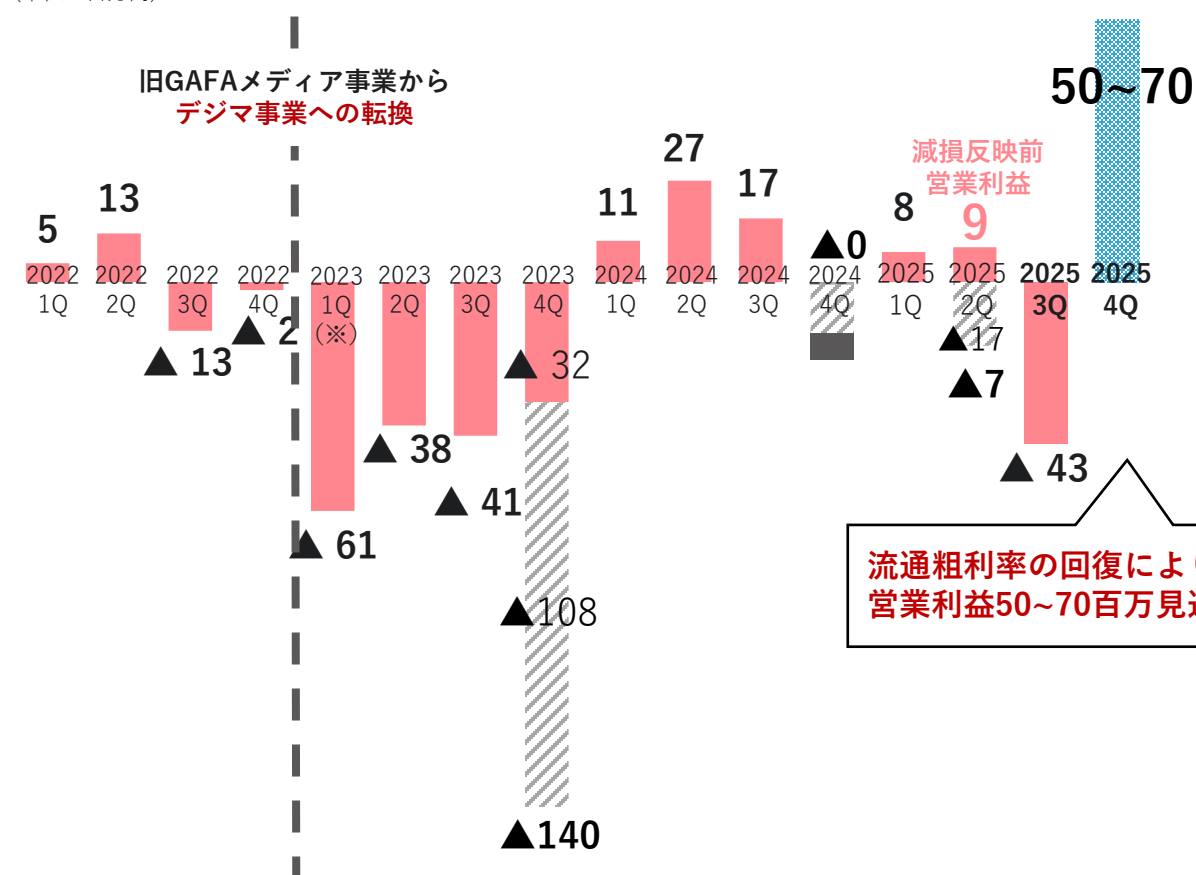
(単位：百万円)



営業利益の四半期推移

■ 営業利益 ▨ 減損 ■ 外形標準課税

(単位：百万円)



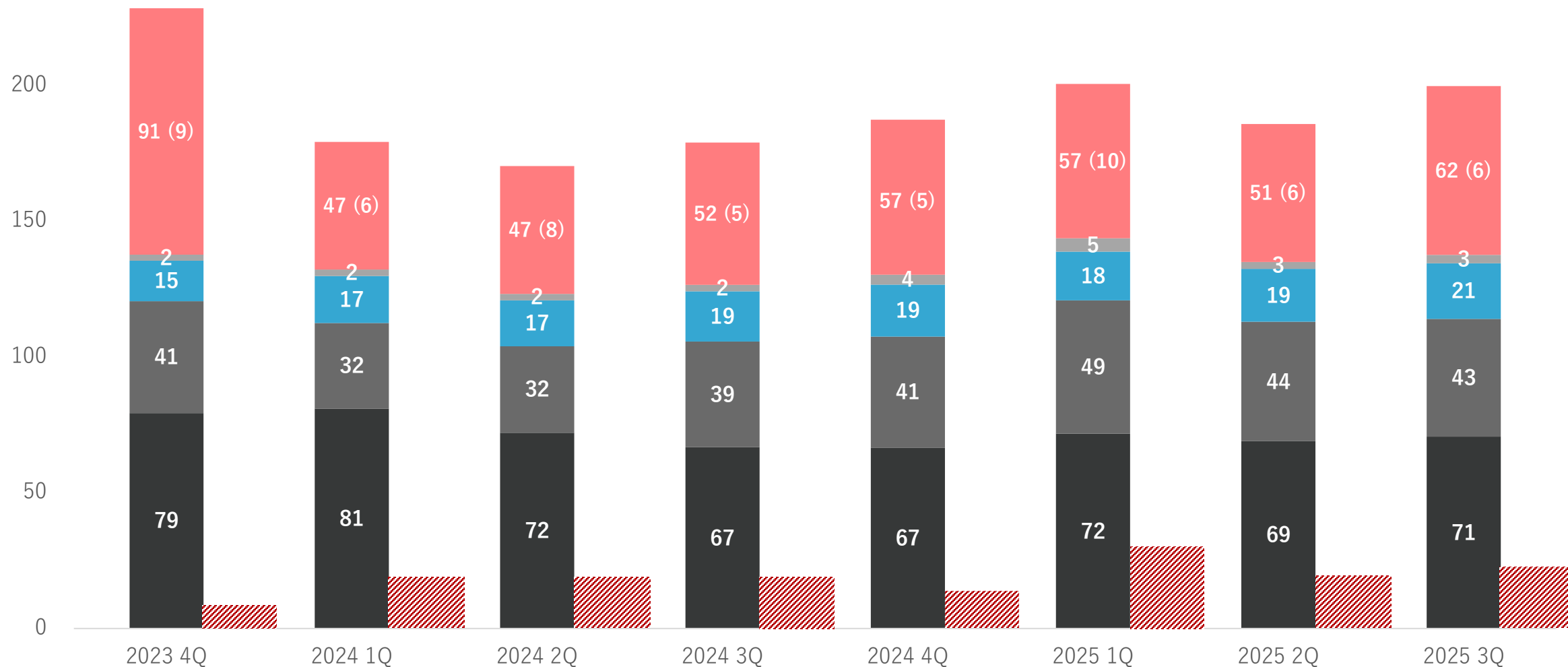
販管費の四半期推移分析(共通費+事業部)

その他費用（広告宣伝費・採用費）が増加したことにより販管費全体で前Q比8%増

250 (単位：百万円)

■ 人件費 ■ 業務委託 ■ 支払報酬 ■ 地代家賃 ■ その他 ■ 資金移動業関連

()は事業部変動費である支払手数料



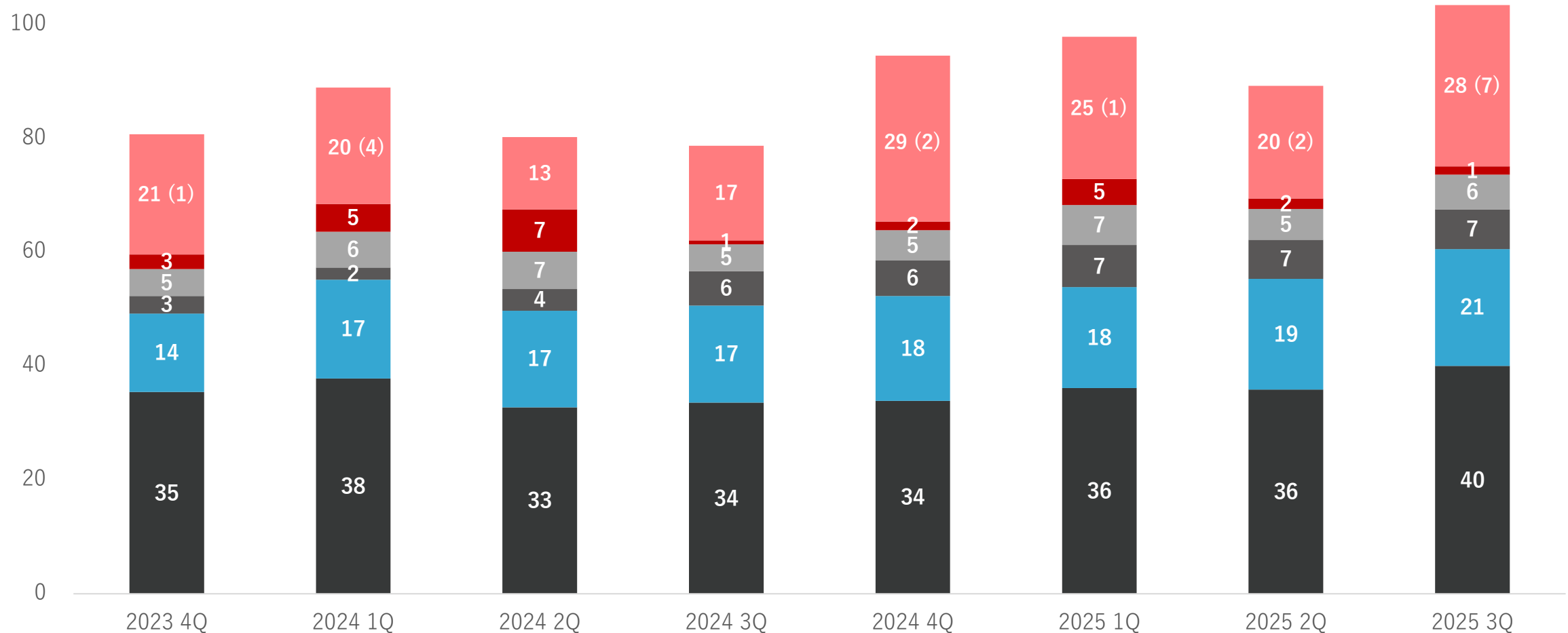
販管費の四半期推移分析(共通費のみ※)

その他費用（採用費）及び支払報酬が増加し、販管費全体で一時的に前Q対比16%増

120（単位：百万円）

■ 人件費 ■ 支払報酬 ■ 業務委託 ■ 地代家賃 ■ 上場関連 ■ その他

()は事業部変動費である採用費



※共通費は日本基準（JGAAP）にて開示しております

連結貸借表（B/S）（IFRS適用）



流通総額拡大に向けた必要資金投入によって、現金及び現金同等物が一時的に減少するものの、十分な流動性を引き続き確保

単位：百万円	2025年9月期 第3四半期末 (2025年6月30日時点)	2025年9月期 第2四半期末 (2025年3月31日時点)	前四半期比	2024年9月期末 (2024年9月30日時点)	前期末比
流動資産	2,293	2,105	109%	1,597	144%
現金及び 現金同等物	1,043	1,171	89%	801	130%
非流動資産	649	654	99%	738	88%
資産合計	2,942	2,760	107%	2,335	126%
流動負債	1,852	1,593	116%	1,396	133%
非流動負債	194	213	91%	122	159%
資本	895	954	94%	817	110%
負債及び 資本合計	2,942	2,760	107%	2,335	126%

当社考察

- 1 株主優待ギフトの発行に係る必要資金などにより、現預金残高は一時的に減少。一方で、受注社数の増加による入金予定額が増加し、流動資産が増加
- 2 流通総額の増加に伴う、入金/発行に係る預り金の増加

03 事業進捗

賃金・報酬・その他にも **お支払いに関する問題**を「より安く」「かんたんに」

I クライアント

主に3万円以下のtoC支払い
マーケ・人材・金融・コスト削減

※資金移動業取得後、デジタルウォレットにて対応予定



株主優待



給付金



キャッシュバック



ポイント交換



キャンペーン



オリジナルギフト



クラウドソーシング、
ギグワークの報酬



返金・中古品
買取代金の支払い



チケットの払い戻し



世の中の通貨をアグリゲート
媒介者としてソリューションを提供

I 支払いDX



デジタルギフト

想いを、すぐに。

会員登録・
アプリ不要



デジタルウォレット
お金の未来をもう。

資金移動業
個人特定あり

デジタル
報酬即払い

I 受取りDX

デジタルプラス

「株主優待ギフト」
5,000円相当

受け取るギフトを選択してください。



I エンドユーザー

当社データにて3万円以下の支払いの
約97%が現金以外での受取

I 稼ぎ方の多様化

副業

給料
前払い

ポイ活

インフルエンサー等働き方の多様化

I 受け取り方の多様化

PayPay PayPal bitcoin



amazon gift card

JAL MILEAGE BANK

au PAY

d POINT

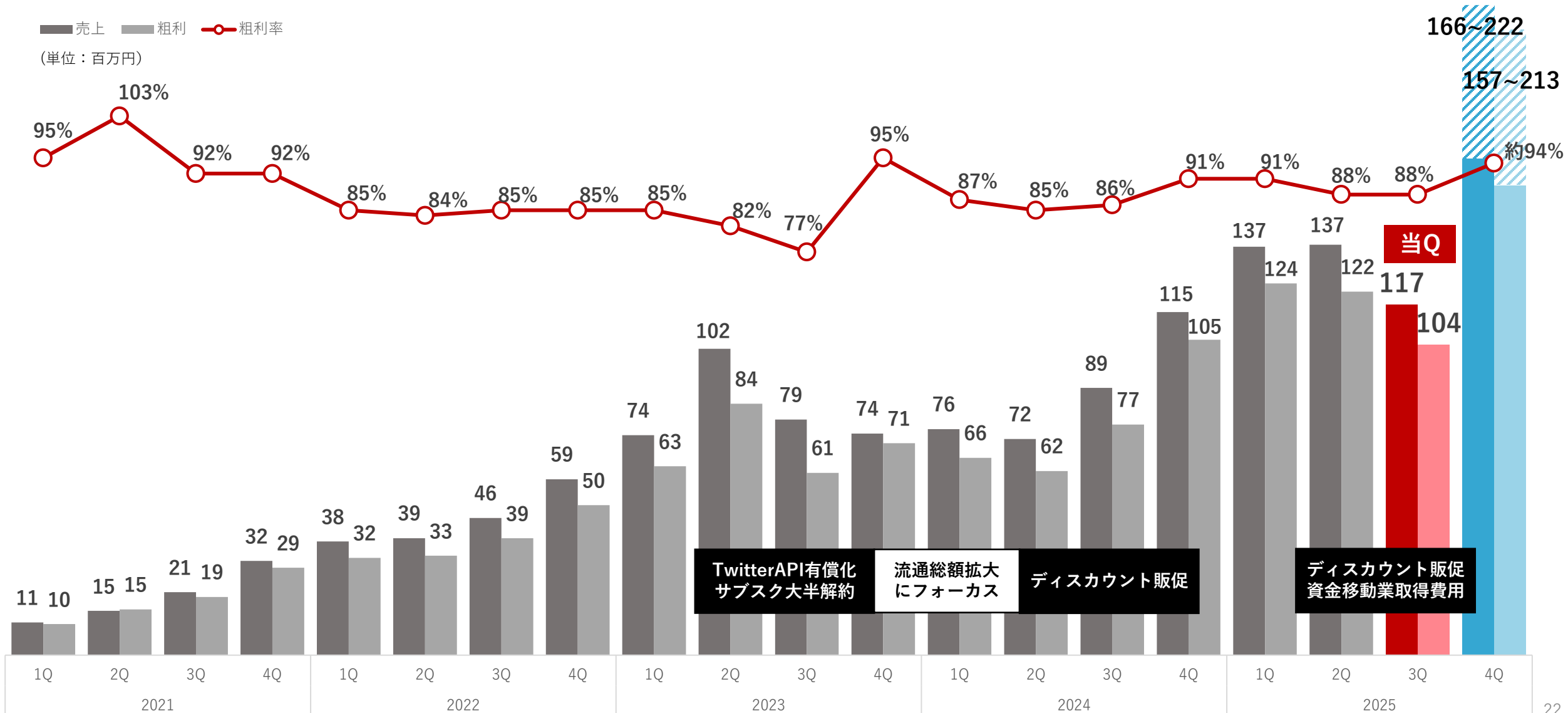
QUO Pay
クオ・カード ペイ

流通総額拡大を最優先とし、資金移動業取得のために一部取引を自粛、及びディスカウント販促により一時的に売上・粗利、粗利率が低下。 4Qは投資回収に入り、**流通粗利率約1.8倍に改善、セグメント利益1億円超を見込む**

単位：百万円	当Q実績	前Q実績	前Q比	前年同Q実績	前年同Q比
流通総額	3,349	2,994	112%	2,023	166%
売上	181	194	93%	153	118%
粗利	147	160	92%	123	120%
粗利率	81%	82%	▲1pt	80%	1pt
販管費	98	89	110%	86	114%
セグメント利益	51	71	72%	37	138%
セグメント利益率	28%	37%	▲9pt	24%	4pt

流通総額拡大を最優先とし、資金移動業取得のために一部取引を自粛、及びディスカウント販促により
売上・粗利ともに前Q比で減少したが、**4Qでは大幅に改善し、粗利率約94%を見込む**

■売上 ■粗利 ●粗利率
(単位：百万円)





2025年6月に資金移動業の取得が完了し、9月までのリリースに向けて社内での試験運用を開始
金融機関ごとの垣根を越えて「**送りたい人に、送りたい方法で、直感的に送れる**」体験の提供を目指す

デジタルウォレットサービス開始へ



2025年6月
本審査登録完了

2025年7月
資金移動業口座開設完了

2025年8月
社内での試験運用開始

2025年9月までに
サービス開始へ

資金移動業取得によって対応可能な業態



振込代行



中古買取金
支払い



交通費



経費精算



個人間送金



冠婚葬祭
(祝儀・香典)



お年玉



入学・入社
祝い



報酬支払い



賞金支払い



チップ

etc

3万円以下toC現金支払い45兆円



出典：広告領域 約12兆円 ※1 サイバー・バズ/デジタルインファクト調べ、XENO BRAIN「市場規模 5年間の推移予測」Roland Berger「Withコロナ時代のアパレル市場の展望」を元に作成
 人材領域 約14兆円 ※2 矢野経済研究所を元に作成
 金融領域 約19兆円 ※3 矢野経済研究所、リサイクル通信を元に作成

株主優待領域で流通総額100億円を目指す。2025年内には大手企業(発行1億以上)を含む100社導入の見込み。
現在、発行済企業は16社、期内15社(予定)、残りは来期以降に収益貢献。



導入決定社数約60社

受取方の多様性 × 未使用ギフト金額は全額返金

LSS社と提携し、株主優待ギフトを起点とした企業価値向上に貢献

PBR 1 倍割れへの対応や資本コスト意識の要請を受け、IR戦略の見直しが加速。個人株主との接点づくりや機関投資家との対話が、企業価値向上の鍵に。**株主優待ギフト×包括的IR支援により、企業価値向上を支援**

機関投資家との連携

～株主構成の段階的な最適化により企業価値向上を包括的に支援～

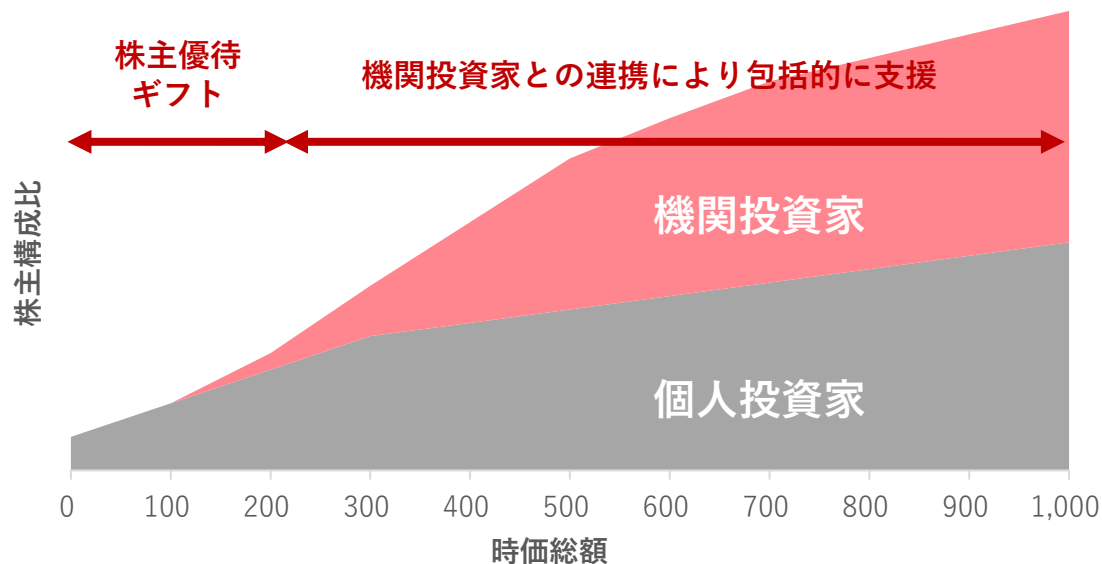
Leading Startup Square社との連携

～PBR向上を見据えた中長期の IR 戦略支援モデルを提供～

①個人投資家層の拡大～機関投資家の参入までを一貫支援

②低PER/PBR企業に初期から伴走

IR施策から企業価値/PBRの向上を一気通貫で支援



※時価総額ごとの株主構成比（イメージ図）

① 株主優待ギフト導入

② 資本コスト (WACC) 削減

③ ROIC-WACCスプレッド拡大

④ 資金調達力向上・高ROIC事業投資

⑤ 売上・利益率・資本効率の拡大

⑥ 統合 IR による PBR 向上



株式会社FUNDiT Media Mergersに対し、ファイナンシャルプラスを譲渡。

売却益1,500万円は4Q営業利益に計上。 フィンテックへの完全集中への体制移行が完了

単位：百万円

	当Q実績	前Q実績	前Q比	前年同Q実績	前年同Q比
売上高	4	33	12%	56	7%
粗利	▲7	17	—	57	—
粗利率	—	52%	—	102%	—
販管費	5	17	29%	23	22%
その他収益及び費用 (※)	11	0	—	16	69%
セグメント利益	3	0	—	34	9%
セグメント利益率	75%	—	—	61%	14pt

※:IFRS上、売上高の一部をその他収益として振替計上、及び売却に伴う減損損失を含む

04 Appendix

デジタルプラス・デジタルフィンテック沿革



- ①10年後も成長し続ける大きな市場
- ②利益性・生産性の高いビジネスモデル



国内最大級クラウドメディア 総会員 1000万人超
クラウドソーシング 月間報酬支払数 約2.5万件超



自社ポイントサービス立ち上げ サイバーエージェントより事業譲渡



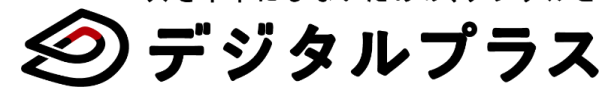
マイクロタスク型
クラウドソーシング



ポイント交換所

PIVOT
フィンテック事業以外
全事業売却

人を不幸にしないための、デジタルと



年間流通総額 約120億円
年間報酬支払数 約240万件



想いを、すぐに。
会員登録不要
単発で簡易に利用可



給料前払い事業買収
リニューアル

お金の未来をもとう。

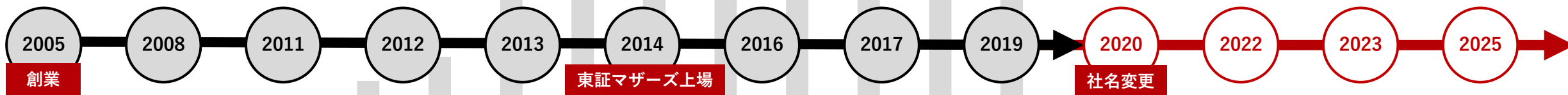


デジタルウォレット

eKYC・資金移動業取得による
デジタル給料払い・個人間送金



副業解禁・在宅ワーク
ライフスタイルの多様化



札幌ラボ設立

READO設立

札幌ラボ分社化

REAL
FINTECH設立

金融事業領域への参入



デジタルフィンテック

2022. REAL FINTECHから商号変更
2024. 本社札幌移管

2011. REALWORLD ASIA PTE. LTD.
2012. PT.SITUS KARUNIA INDONESIA 設立

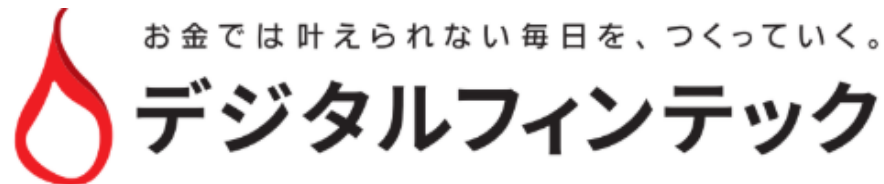
2014
マークアイ買収

2017
ノーザンライツ買収



人を不幸にしないための、デジタルと

- ・デジタルを通じて社会を発展させる
- ・社会全体の不安や不幸を排除する
- ・デジタルに置いて行かれる人を作らない



お金では叶えられない毎日を、つくっていく。

- ・お金をもっと自由に
- ・簡単で便利な金融サービス
- ・新しいお金の価値創造



お金の未来をもとう。

- ・小口送金の変革(資金移動業)
- ・お金の受取側の自由拡張
- ・お金の未来をつくる



想いを、すぐに。

- ・多様な形に変わるお金の役割
- ・簡単・自由な受け取り方法
- ・社会全体における経済活動の変革



話す、聞く、さきへいく

- ・マッチングサービスによる社会発展
- ・デジタルウォレットの価値向上
- ・キャッシュフロー・利益基盤の創出



代表取締役 社長 菊池 誠晃

2001年10月 株式会社サイバーエージェント
2005年7月 当社設立 代表取締役社長（現任）



取締役 千葉 博文

2013年4月 当社 入社
2018年3月 株式会社リアルX 代表取締役
2020年5月 当社 執行役員
2020年12月 当社 取締役（現任）



取締役CFO兼グループ本部長 加藤 涼

2004年4月 中央青山監査法人
2005年11月 モルガン・スタンレー証券株式会社
2009年1月 フォートラベル株式会社 取締役
2010年5月 バークレイズ証券株式会社
2012年9月 コーチ・ジャパン合同会社
2016年2月 ユナイテッド&コレクティブ株式会社 取締役
2020年12月 当社 執行役員CFO 兼 グループ本部長
2022年12月 当社取締役CFO 兼 グループ本部長（現任）



取締役 澤 博史

2013年4月 ソリッドインテリジェンス 株式会社 取締役就任（現任）
2018年6月 データセクション株式会社 会長就任
2018年10月 Tranzax株式会社 社外取締役就任
2018年10月 株式会社プログレス（現TOKYO BIG HOUSE株式会社）社外取締役就任
2018年12月 株式会社Macbee Planet 社外取締役就任（現任）
2019年3月 エステートテクノロジーズ 株式会社 代表取締役就任
2019年10月 株式会社ROBOT PAYMENT社外取締役就任（現任）
2020年3月 アディッシュ株式会社 社外取締役就任（現任）



社外取締役（監査等委員会） 志村 正之

株式会社三井銀行（現 株式会社三井住友銀行）入行
同行執行役員アジア・大洋州本部長就任
同行専務執行役員就任
三井住友カード株式会社専務執行役員就任
同社代表取締役専務執行役員就任
株式会社Shimura&Partners代表取締役就任（現任）
BASE株式会社 社外取締役就任（現任）
株式会社bitFlyer Holdings社外取締役就任（現任）
メディア社外取締役就任（現任）
株式会社HashPort社外取締役就任（現任）



社外取締役（監査等委員会） 西井 健二郎

株式会社三和銀行（現株式会社三菱UFJ銀行）入行
モルガン・スタンレー証券株式会社
（現モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社）入社
株式会社大和証券グループ本社入社
株式会社セブン銀行入行
株式会社セブン銀行執行役員（現任）
一般社団法人Fintech協会理事（現任）



社外取締役（監査等委員会）松本 雄真

佐藤総合法律事務所入所
株式会社リクルート入社
佐藤総合法律事務所入所（現任）



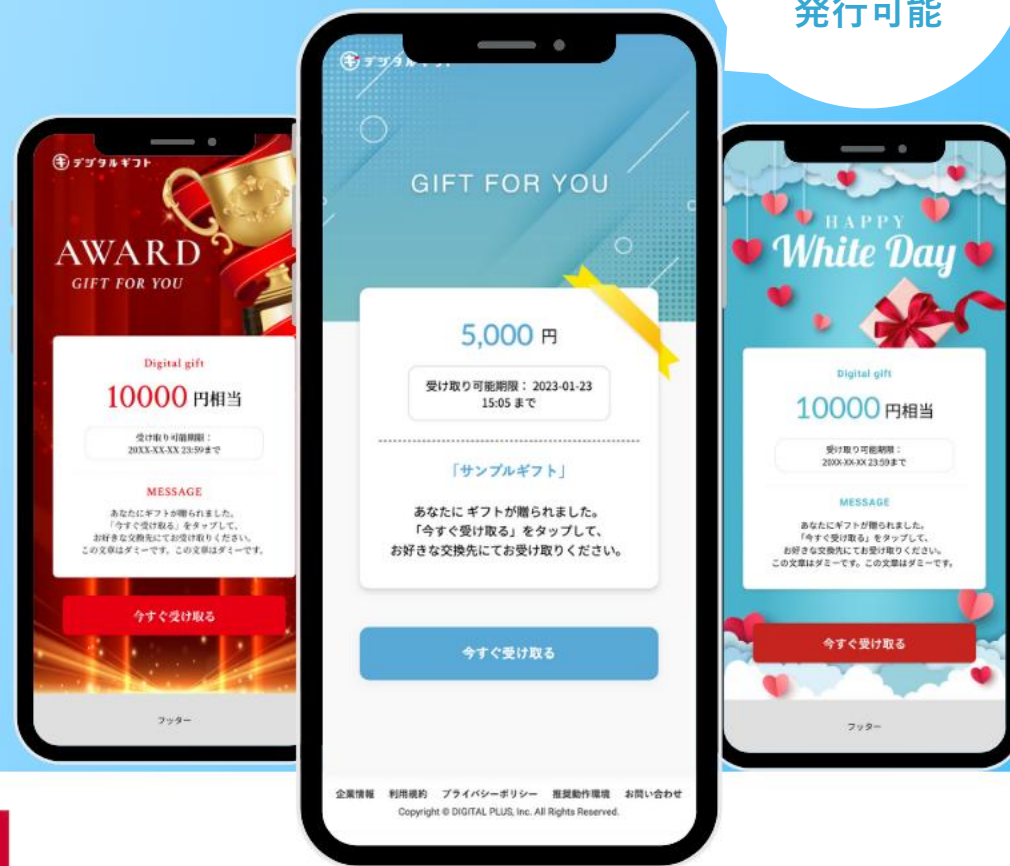
デジタルギフト

想いを、すぐに。

24時間365日
いつでも
即日
発行可能

業界最安値の発行手数料 -5~5%で利用可能

URLのみで配布可能なため自在な渡し方を実現



支払い



現金



その他全国の銀行

ポイント・マイル



暗号資産

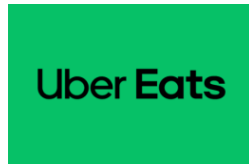


ゲーム・アプリ



※PayPay：ユーザー5%負担
※楽天ポイント：ユーザー50%負担
※JALマイル：2円 = 1マイル

食べる



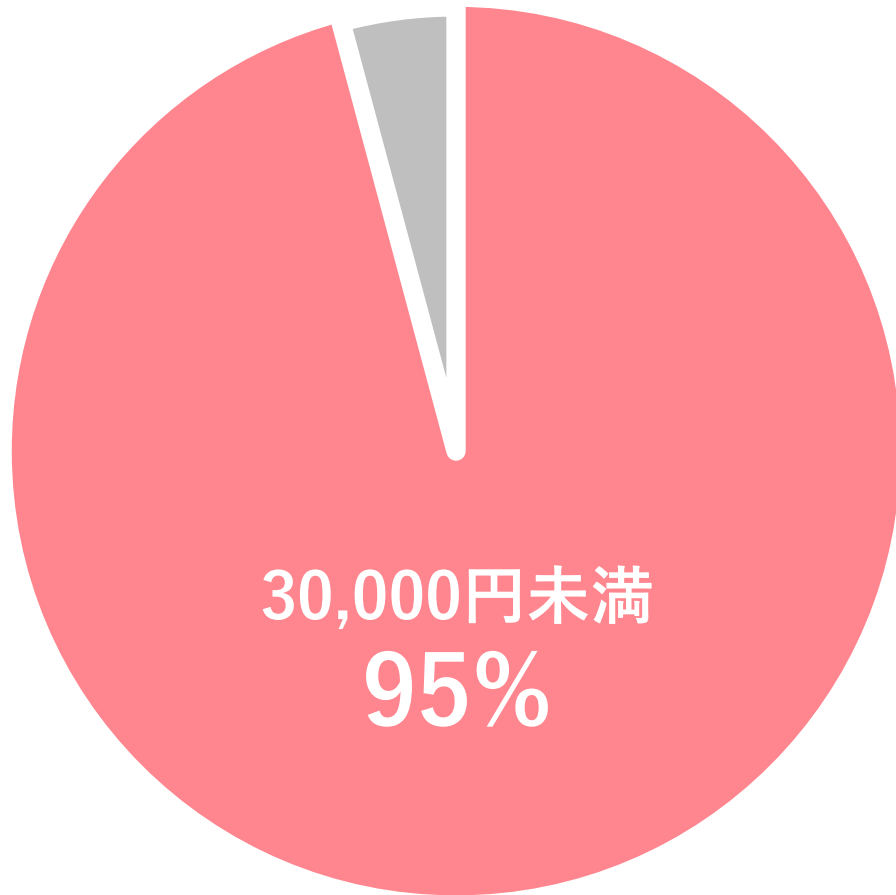
ユニセフ
(公益財団法人
日本ユニセフ協会)



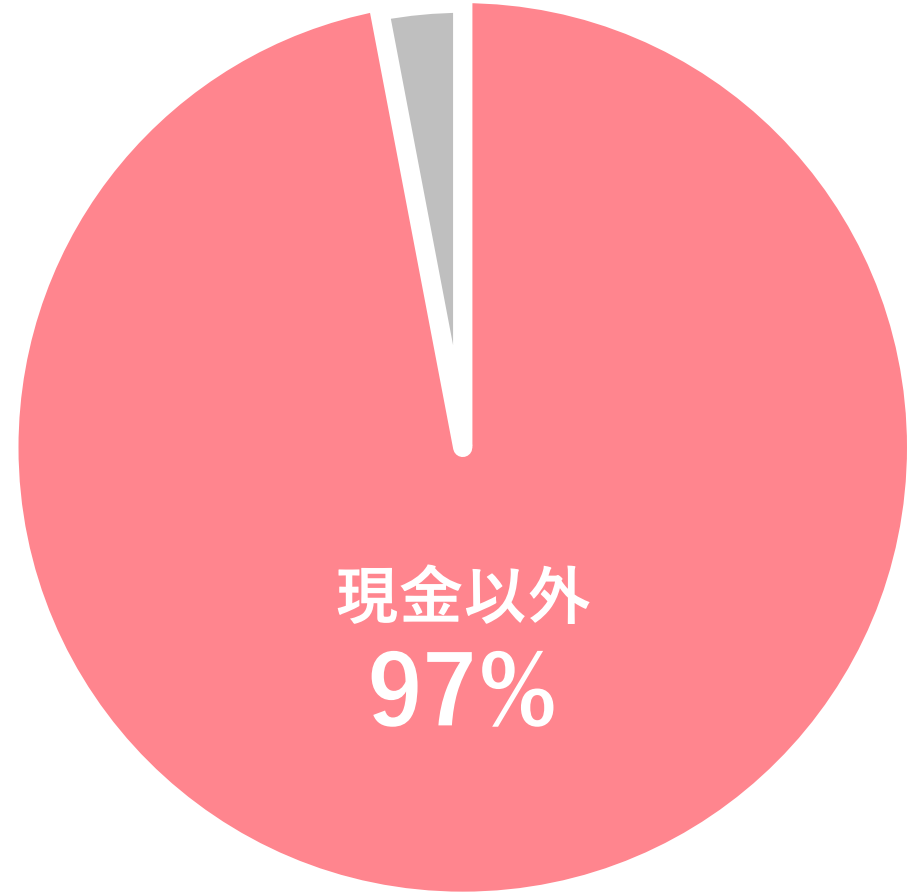
当社サービスのデジタル受取の**95%**は**3万円未満の少額受取**

また、**3万円未満は現金以外を受け取る利用者が約97%**と多く、デジタル受取の需要は加速すると考えられます

当社デジタル受取額の分布



3万円未満の受取先傾向



アプリのダウンロードや会員登録は不要、届いたギフトのURLをタップだけで利用可能
デザインテンプレートをカスタマイズすることによって、シームレスに受け渡し完了
ユーザーの離脱防止や、自社サービスと一貫性のあるUI・UXを実現

ギフトTOP



ギフト選択



ギフト選択詳細



受取り同意画面



動画再生



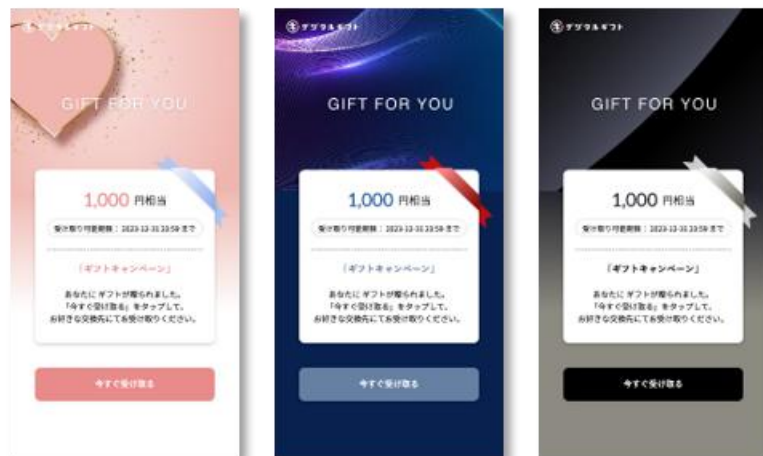
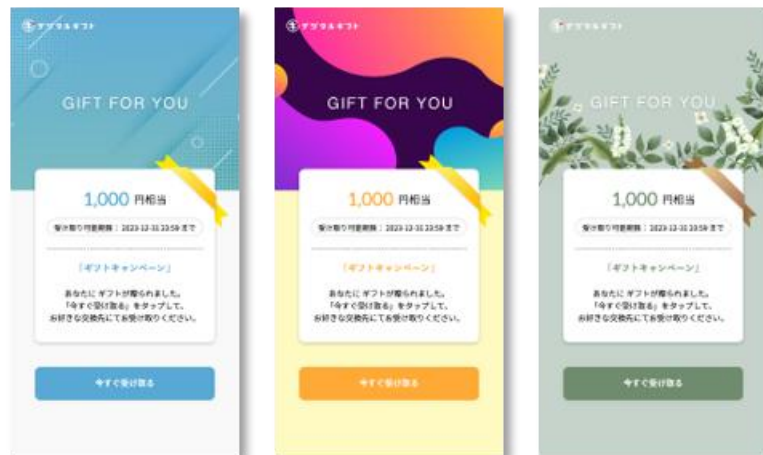
受取り完了



- ※1: PR動画の差し込みには有料プランへの登録が必要です
- ※2: 受け取り画面下にバナーを設置するには有料プランへの登録が必要です
- ※3: 一部サービスでギフトを受け取る場合、受取先サービスのログインが必要です

ベーシックなデザインからイベントに合わせたデザインまで幅広く提供、順次デザイン追加予定
貴社専用デザインの制作も可能

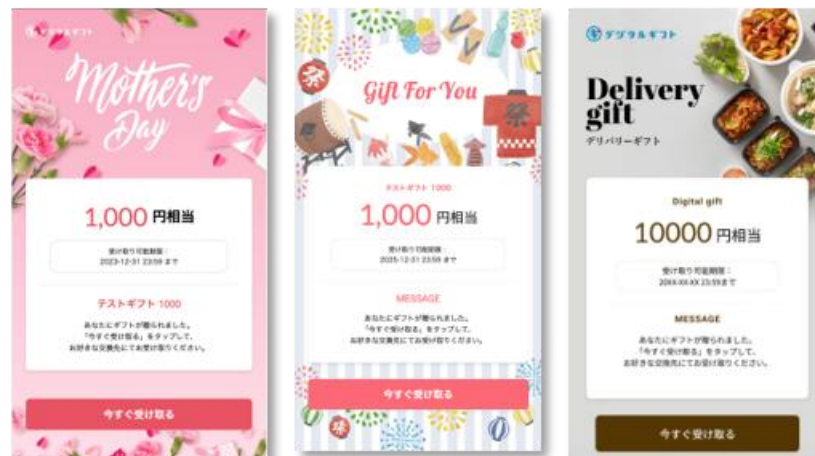
ベーシック



シーズナル



用途別



企業独自の商品をギフト化。ブランドイメージや企業理念を反映させたオリジナルのギフトを贈ることが可能
デジタルギフト®交換先に追加することで、弊社流通からの流入（ユーザー獲得）も期待可能

発行可能な自社商品ギフトイメージ

■物品ギフト・デジタル商品券

- ・自社で製造、販売している製品（食品等）
- ・ノベルティグッズ等



■デジタルチケット・デジタル回数券・スタンプラリー

- ・店舗やECで使える割引券
- ・特定商品との交換券（ドリンクチケット等）



■デジタルコンテンツ

配布・消込方式等

■電子スタンプ・QRコード等による消込

店舗やイベントにて機材や充電不要
手軽にデジタルギフトや
チケットの認証・消込が可能



■コード表示

POS連携やシリアル番号等での配布が可能
(QRコード・JANコード・文字列・URL等)

■入力フォーム

商品や試供品の配送が可能
・氏名・住所・電話番号等

当社オリジナルのデザインテンプレートをご用意の他、
オリジナル仕様にするによって、会社ブランディングを担保可能

デジタルプラス



デジタルプラス

「株主優待ギフト」
5,000 円相当

今すぐ受け取るをタップして、
お好きな交換先にてお受け取りください。

今すぐ受け取る

受け取り可能期限：2024-03-05 23:59

企業情報 | 利用規約 | プライバシーポリシー | 推奨動作環境

Copyright © DIGITAL FINTECH, Inc. All Rights Reserved.

デジタルプラス



デジタルプラス

「株主優待ギフト」
5,000 円相当

今すぐ受け取るをタップして、
お好きな交換先にてお受け取りください。

今すぐ受け取る

受け取り可能期限：2024-03-05 23:59

企業情報 | 利用規約 | プライバシーポリシー | 推奨動作環境

Copyright © DIGITAL FINTECH, Inc. All Rights Reserved.

デジタルプラス



デジタルプラス

「株主優待ギフト」
5,000 円相当

今すぐ受け取るをタップして、
お好きな交換先にてお受け取りください。

今すぐ受け取る

受け取り可能期限：2024-03-05 23:59

企業情報 | 利用規約 | プライバシーポリシー | 推奨動作環境

Copyright © DIGITAL FINTECH, Inc. All Rights Reserved.

オリジナルデザイン

オリジナル
デザインも制作可

「株主優待ギフト」
5,000 円相当

今すぐ受け取るをタップして、
お好きな交換先にてお受け取りください。

今すぐ受け取る

受け取り可能期限：2024-03-05 23:59

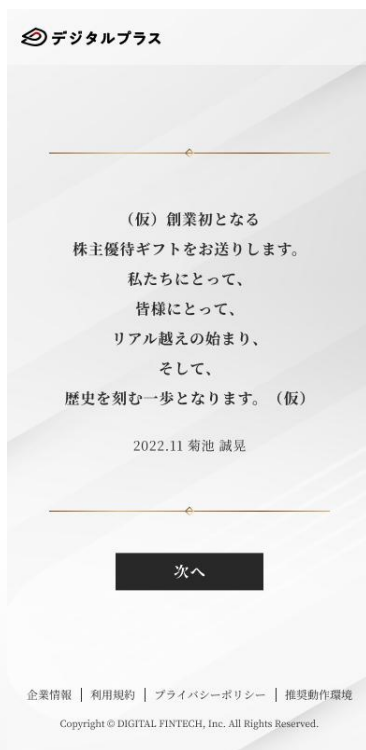
企業情報 | 利用規約 | プライバシーポリシー | 推奨動作環境 | お問い合わせ

Copyright © DIGITAL FINTECH, Inc. All Rights Reserved.

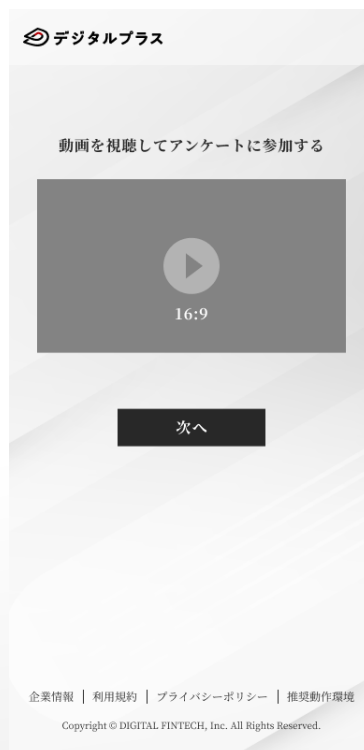
※：各種ロゴは貴社規定のものに変更を行います

アプリのダウンロードや会員登録は不要、届いたギフトのURLをタップだけで利用可能

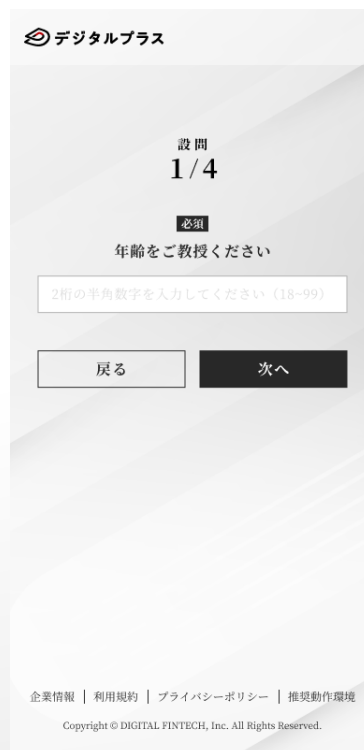
TOP画面



動画再生※



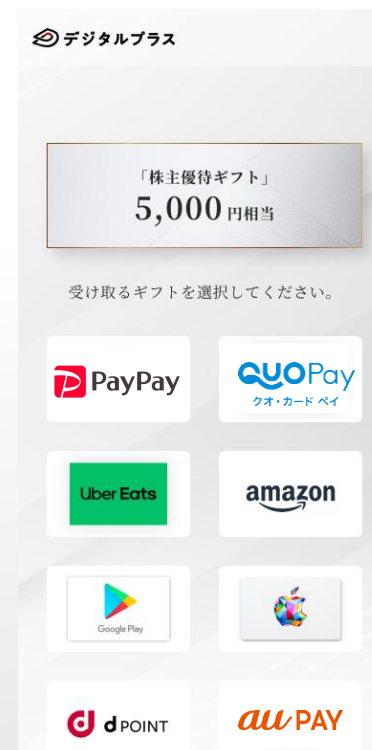
アンケート回答※



ギフトTOP



ギフト選択



受取り完了



※：各種ロゴは貴社規定のものに変更を行います
※：株主優待ギフトでのご利用に限り無償提供：必須ではありません

株主優待は個人投資家にとって重要ですが、発表後の廃止例などで継続性や信頼性に不安が拡大
株主に優待発行の意思を示す新たな仕組みが求められる中、当社は『優待発行証明書』の提供を開始



【証明書発行の流れ】

- ・直前基準日の株主名簿記載人数を見込み株主数とし、その分の株主優待ギフト発行後、入金確認を経て当社が証明書を発行
- ・発行証明書はホームページ、開示文書、株主向け資料等に二次利用可

省エネ家電購入でキャッシュレスポイントをプレゼント!

みえデコ活 促進!

三重県民のみなさま限定!

省エネ家電 購入応援 キャンペーン

今が買い換えのチャンス!

申請受付期間

令和6年 4月5日(金)～9月16日(月・祝)

購入対象期間

令和6年 3月27日(水)～8月31日(土)

※予算がなくなり次第終了

期間中に対象店舗で対象の省エネ家電を購入いただいた三重県民のみなさまに 購入額に応じてキャッシュレスポイント等をプレゼント!

対象製品

エアコン 冷蔵庫・冷凍庫 LED照明器具 電気温水機器 (エコキュート)

ポイント交付額 ◎申請はおひとり様1回限りです。

合計 15万円以上の購入 ▶ 3万円分のポイント交付

合計 10万円以上15万円未満の購入 ▶ 2万円分のポイント交付

合計 5万円以上10万円未満の購入 ▶ 1万円分のポイント交付

※省エネ家電のご購入金額(税抜・合計金額も可)

※ポイント交付上限に達した場合、申請受付期間に関わらず早期に終了する場合がございます。申請はお早めにお願います。

みえデコ活（三重県省エネ家電購入支援事業）	
導入目的	交付金のデジタル（DX）化
導入背景	既存の運用費用の削減
配布予算	4億円
配布単価	10,000円・20,000円・30,000円
配布期間	6ヶ月間（2024年4月～2024年9月）
デザイン	みえデコ活オリジナルデザイン（弊社制作）
オプション機能	・分割受け取り機能 → 残高を分割して各交換先に振り分けが可能
	・交換期間：180日間 ・交換状況レポート → 交換の有無やどの交換先に交換されているか
交換先	PayPayamazonauPAYPayPalペイパル dPOINTAppleGoogle PlayVisa eギフト PlayStation StoreすかばいグループUber EatsUber 図書カードNEXTネットギフトDemaecan

TOPページ

みえデコ活！省エネ家電
購入応援キャンペーン

お問い合わせ

みえデコ活！
省エネ家電
購入応援
キャンペーン

みえデコ活！
省エネ家電
購入応援キャンペーン
交付ポイント

あなたにギフトが贈られました。
「今すぐ受け取る」をタップして、
お好きな交換先にてお受け取りください。

10,000円相当

受け取り可能期限：2024-06-18 23:59 まで

今すぐ受け取る

交換先選択画面

みえデコ活！省エネ家電
購入応援キャンペーン

お問い合わせ

ギフト残高
10,000円相当

受け取り方法を選択してください

PlayStation Store

Uber Eats

amazon

PayPay

d POINT

Google Play

図書カードNEXT

交換完了画面

みえデコ活！省エネ家電
購入応援キャンペーン

お問い合わせ

amazon Amazonギフトカード

受け取り完了
必ずコードを控えるか、入力を済ませてください。

1,000円相当

Z7NV-LBBG39-75MU
コードをコピーする

コード利用期限：期限なし

※受け取ったコードの再表示はデジタルギフトのURLを再度開くと、受け取ったギフトの履歴で確認できます。

Amazonギフトカードの詳しい使い方は[こちら](#)をご確認下さい。

ギフトを交換する

交換履歴を確認する

残りのギフト額 **9,000**円相当

交換履歴確認画面

みえデコ活！省エネ家電
購入応援キャンペーン

お問い合わせ

交換履歴

2024/04/03

amazon Amazonギフトカード
1000円相当
コード利用期限：期限なし

amazon Amazonギフトカード
1000円相当
コード利用期限：期限なし

ギフトを交換する

残りのギフト額 **8,000**円相当

企業情報 利用規約 プライバシーポリシー 推奨動作環境 お問い合わせ

Copyright © DIGITAL FINTECH, Inc. All Rights Reserved.

即払い

利用者負担を最小限に報酬の前払いを実現

24時間365日好きなタイミングで受け取り可能

アジア圏を中心に7言語への対応で外国籍の方も利用可能

各種勤怠システムと連携可能

報酬の天引きで
デジタル払い
にも対応

不足する
人財課題に対して
応募者数上昇
定着率向上
離職率の低下
の側面で支援

初期導入費用無料

業界最安値

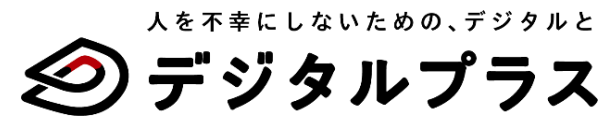
利用手数料 **100**円~





報酬区分	企業ポイント	○	○	×
	前払式支払手段	○(※1)	×(※2)	×
	現金	○(※1)	資金移動業サービス 2025年9月までに 正式リリース	○(※3)
	バリュー電子マネー			×
有効期限		90日間	180日間	-
上限額		100,000円	500,000円	-
会員登録		×	○ eKYC搭載	○
ポイント保存機能		×	○	×

※1交換先は前払い式支払い手段に限ります
※2交換先の絞り込み不可。現金への交換を防ぐため前払式手段はデジタルギフト®にて対応させていただきます
※3利用用途に一部制約がございます



グループ本部

IR担当

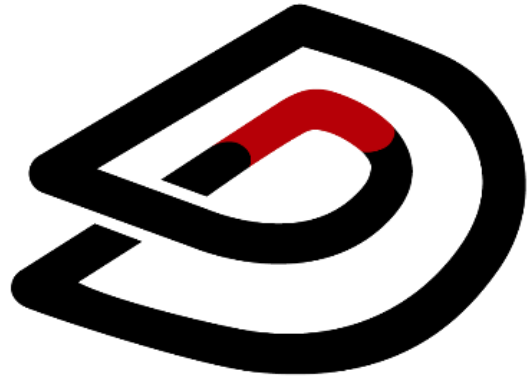
TEL

03-5465-0690

問い合わせフォーム

<https://digital-plus.co.jp/contact/>

人を不幸にしないための、デジタルと



デジタルプラス

はじまること、出会うこと、成長すること、遊ぶこと、
学ぶこと、挑戦すること、愛すること、
失敗しても、またはじめられること。

前に進む人生のすべてに、

一緒にいるデジタルを提供していく。

無意識のうちに、つい、あきらめてしまっていることを、
叶えられることに変えていく。